

2015年2月23日
第51回JPドメイン名諮問委員会
資料4-1

ICANNにおける国際化ドメイン名 (IDN) TLDに関する検討状況

～漢字に関連する検討を中心に～

2015年2月23日(月)
株式会社日本レジストリサービス

TLDにおけるIDN文字列のルール

- ICANNが統ルールを制定
 - TLDは世界中のインターネットユーザーが使うので、TLDにおけるIDNにはさまざまな言語の文字が使われる
 - 各TLDは、どの言語の文字列であるかがTLD申請時に決められる
 - ただし、TLDを構成する文字列は複数の言語の文字を組み合わせてはいけない
 - 文字列の組み合わせはその言語で使用可能と定義された文字の中からのみ
 - ある言語のTLDを構成する文字列のルール(言語ルール)は、その言語のコミュニティがICANNに提案し、ICANNが提案全体を統合して統ルールを作成する
 - 言語コミュニティの代表:生成パネル(Generation Panel)
 - 統ルール作成:統合パネル(Integration Panel)
 - 漢字など、複数の言語で共有される文字は、その文字を共有する言語コミュニティが協力して統ルールの基礎を作成する
 - 漢字の他には、アラビア文字、インド系文字、ラテン系文字などがある

IDN TLDに関して解くべき課題

- 各言語で使用する文字
 - TLD文字列の中で使用可能な文字の集合
 - その集合の中での異体字の定義
- 複数の言語が文字を共有する場合の異体字の扱い
 - 異体字とは
 - 同じ発音・意味を持つが異なる字体の文字のこと
 - 漢字の「国」と「國」など
 - 異体字の定義は言語、国、文化、使用される文脈で異なる
 - 課題
 - 各言語ルールにおいて異体字をどう定義するか、どう扱うか
 - TLD(ルートゾーン)用のルールで、異体字を持つ言語ルールをどのように統合するか

漢字に関する検討状況

- 生成パネル
 - 中国・台湾等が協力し中国語生成パネルCGPを設立 (ICANN承認済み)
 - 日本は日本語生成パネルJGPを設立
 - 韓国は韓国語生成パネルKGPを設立
- CJK間の協力
 - TLDでは文字列申請時以外に言語の区別ができないため、中国語・日本語・韓国語で共通に使う文字である漢字については、統ルールで扱う必要がある
 - 例えば、「.国中」と「.國中」のどちらを(もしくは両方を)TLD文字列として使えるか
 - 「.国中」と「.國中」の両方を使えるとして、それらの運営者は別でもよいか
 - このような統ルール検討・作成のための協力を各言語とドメイン名に関する専門家チームCGP・JGP・KGPが開始した
 - これらはすべて、ICANN IDN TLDに関連する活動の一環で行われている

日本における活動

- 日本語生成パネルの活動紹介Webサイト開設
 - <http://j-gp.jp/>
- 日本語生成パネルの設立をICANNに提案
 - <http://j-gp.jp/topics/20150218-02>
- 中国語生成パネル、韓国語生成パネルとの情報交換・調整
 - 漢字で使用可能な文字集合の案を共有
 - 中国語TLD用ルール案 漢字19,500文字(減らす用意あり)
 - 日本語TLD用ルール案 漢字 6,300文字(JIS第一水準+第二水準) + 平仮名 + 片仮名
 - 韓国語TLD用ルール案 漢字+ハングル(検討中)
 - 異体字
 - 中国語TLD用ルール案 あり(繁体字と簡体字)
 - 日本語TLD用ルール案 あり/なし を検討中
 - 韓国語TLD用ルール案 あり/なし を検討中

日本語生成パネルメンバー

2015年2月4日現在

役割	氏名	所属
チェア	堀田博文	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
副チェア	前村昌紀	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
コミュニティ代表	後藤滋樹	早稲田大学
コミュニティ代表	小西和憲	APAN-JP事務局長
コミュニティ代表	久保次三	専修大学
言語専門家	田代秀一	独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
ポリシー専門家	前村昌紀(兼)	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
レジストリ/レジストラ専門家	村上嘉隆	株式会社ブライツコンサルティング
レジストリ/レジストラ専門家	堀田博文(兼)	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
レジストリ/レジストラ専門家	米谷嘉朗	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
DNS/IDNA/Unicode専門家	米谷嘉朗(兼)	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)

事務局：株式会社日本レジストリサービス(JPRS)/一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)